

お出かけください 文化施設巡り 8

このコーナーでは、豊岡市立の文化施設を巡り、紹介します。

いのちの教育を探求する館

東井義雄記念館



- 所在地 豊岡市但東町出合150(但東市民センター内)
☎21-9036 FAX 54-1025
- 開館時間 10:00~16:00
- 休館日 毎週火曜日、祝日、休日、年末年始(12月28日~1月4日)
- 入館料 無料
- ホームページアドレス <http://www3.city.toyooka.lg.jp/toui-kinenkan/index.html/>



▲教育委員会但東分室職員の大石麻実がご案内します。

東井義雄記念館は、平成6年7月に開館しました。この施設は「いのちの教育」「村を育てる学力」で真の学力を探求し、自己研鑽する場にもなっています。皆さん、ぜひ、お越してください。

東井義雄プロフィール(1912~1991)

東井義雄は、明治45年、但東町佐々木のお寺の長男として生まれました。40年間教職員を勤めながら多くの論文を発表し、その教育実践は高く評価されて「日本のペスタロッチ(※注1)」とも呼ばれています。常に子どもの立場に立った教育を目指して生命の不思議、生命の素晴らしさを説き、生涯をかけて「いのちの教育」の探求に尽くしました。今なお、その教育理念は多くの共感を呼んでいます。



※注1(ペスタロッチ)…スイスの教育家。孤児教育や児童教育に一生を捧げた。その教育の目的とする理念や実践は、近代西欧の教育界に大きな影響を与えた。



◀展示室

館内には、著書・論文・実践記録などの遺墨や遺品を展示し、展示室中央では少年期からの生涯をビデオ放映しています。また、著書も販売しています。



◀冊子『いのちのことば』

東井義雄賞『いのちのことば』を毎年、募集しています。第6回の今年のテーマは「私にとって忘れられない家族のあの一言」です。今までに「親切のグルグルまわし(第4回)」、「看病する人の辛さ、悲しみよりも、看護される人の辛さ、悲しさは遙かに大きいのです(第5回)」などが東井義雄賞を受賞しました。



▲企画展

東井教育を広く啓蒙するため、但馬各地で企画展を開催しています。写真は、今年7月25日~27日に開催した出石市民ホールでの企画展。